

## 別れ

ひと筋の銀のリボンが流れている

今まさに

蜘蛛に体液を吸われているかのような恍惚と

そして嗚咽

涙のない嗚咽

いつでもということではなく

僕は涙を求めている

美しい中に倒れたいという希い

その奥底に潜むものを探しても無駄だ

孤独という言葉も無意味だ

全てはもともと混沌であるはず

泳ぐことなく

ただ浮かぶことの意味というものがある

ひと筋の銀のリボンだけが流れている

(2011.9.20)